

# カレード通信 Vol.63

2023年  
1月号

## 小澤館長のコラム Vol.19

「去年の干支は寅」理由は「今年は卯年だから」

新年あけましておめでとうございます。今年は卯年ですね。毎年のことですが、干支を覚えていられるのはせいぜいひと月で年末になるといつも今年の干支はなんだったっけ？となります（私だけかもしれませんが）。とはいえ新年はなんとなくワクワクした気分になるものです（ただ踊らされているだけかもしれませんが）。カレードでもご多分に漏れず新年らしい企画を準備しています。図書館では「本のはてなパック」など、市民学習センターでは恒例となった「新春竹筆書道パフォーマンス」があります。はてなパックは私を含めカレードの全スタッフが工夫を凝らして選んだ本を準備しています。中身が見えないこの手の企画はまさにワクワクです。竹筆パフォーマンスは完成した書をしばらくの間、館内のブックタワーに飾ります。このようにカレードでは新年らしい様相で皆様のワクワクをお手伝いいたします。本年もカレードをよろしく願いいたします。（つづく）

1月 January

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6 新春竹筆書道 パフォーマンス	7 陶芸教室
8 カレードシネマ	9	10 あかちゃん おはなし会	11	12	13	14 陶芸教室
15 料理教室 こどもおはなし会	16	17	18	19	20	21 陶芸教室
22 かがく実験教室	23	24	25	26	27	28 陶芸教室
29	30	31				

## 図書館展示情報

### 一般展示 卯年二〇二三

2023年は卯年。ということで、うさぎに関する本を集めました。小説やことわざに関する本などたくさんありますので、ぜひ新年はうさぎに関する本をたくさん読んで、うさぎマスターになってみてください♪



### 児童展示 お正月

お正月にちなんだ本を集めました！今年もすてきな本に出会えますように。新年もどうぞよろしく願いいたします。



### YA展示 2023年を予想する！

令和5年の幕開けです！今年は野球に柔道、水泳、陸上、ラグビー等々世界大会が目白押し！宇宙から若田光一さんが戻ってきたり、広島でG7が開催されたり、新しい学校の在り方は？そして新型コロナウイルスはどうなる？…あなたは2023年をどんな一年にしたいですか？

このほか館内の様々な場所でも展示をしています。ぜひこの機会にお立ち寄りいただき、色んな本と出会ってください♪

最新情報は  
こちらから！

## 1月 カレードイベント情報！

### 新春竹筆書道パフォーマンス

日時：1月6日(金)  
パフォーマンス 14:30～15:00  
竹筆体験会 13:30～14:00  
場所：オープンギャラリー、市民展示室  
\*パフォーマンスの鑑賞および体験会は無料・申込不要です。  
ご好評をいただいている竹筆書道パフォーマンスを、2023年も開催！竹筆特有の書体の妙と、一気に書き上げる見事な筆さばきを間近で味わえるイベントです。どんな文字が書かれるのかは、当日までのお楽しみ。皆さまのご来館をお待ちしております！



### 本のはてなパック

日程：1月5日(木)～ なくなり次第終了  
場所：児童、YA、一般コーナー  
貸し出し：1人1パックまで  
何が入っているかは開けてからのお楽しみ！児童、中高生、一般それぞれの部門に分けて、いろんなテーマでスタッフが選んだ「はてなパック」を作成しました。貸し出しの際は、総合カウンターまでお持ちください。



### カレードシネマ

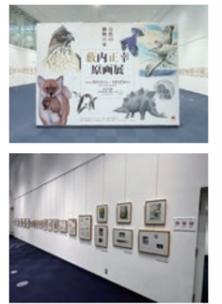
#### 「劇場版 岩合光昭の世界ネコ歩き あるがままに、水と大地のネコ家族」

日時/1月8日(日) 13:00開場  
13:30～ブックトーク、その後上映会  
会場/音楽スタジオ 定員/50名(当日先着順)  
動物写真家・岩合光昭さんが、世界中のネコと出会い、心から撮りたいと願ったネコの家族愛。流れゆく季節の中でふたつの舞台を見つめます。  
あるがままに……水と大地を舞台に繰り広げられる、ネコたちの愛と絆の物語です。  
併せて南光庭前にて、大人も子どもも楽しめるネコの本を集めた展示を行っております。  
ぜひ、ご家族そろってお越しください♪

## 12月 イベント報告

### 藪内正幸原画展・藪内竜太講演会

12月1日～25日まで、動物画家として幅広い分野で活躍した藪内正幸氏が描く原画作品約50点を展示しました。足あとクイズやお絵描きコーナーにも沢山の方にご参加いただき嬉しく思います。  
また、12月4日には、藪内正幸美術館館長・藪内竜太氏による講演会を開催しました。藪内正幸さんの幼少期から動物画家として活躍するに至った経緯を知ることができて興味深かったです。  
展示ならびに講演会等たくさんのご参加をいただき誠にありがとうございました。



### 今月のおすすめ本

#### 『世にも美しき数学者たちの日常』

著者：二宮 敦人 出版社：幻冬舎 分類ラベル：410.2/-/

「数学」と聞くと、なんとなく憂鬱な気持ちになる方もいらっしゃるのではないのでしょうか。私自身、数学が苦手で、できればあまり関わらずに生きていけたらと思っています。  
そんな方でも、数学の「美しさ」に触れることのできる本を紹介します。  
この本では、7人の数学者と4人の数学マニアが、数学の楽しさ、美しさについて語っています。数学者に難解で高尚なイメージを持っていた著者が、そのロマンに触れるために様々な数学者の話を書くのですが、数学が苦手な人にもわかりやすいよう、身近なものに例えてその世界を共有してくれます。  
数学は『鉛筆と紙、あとは時間と空間だけあれば』できる趣味、『「数式」から人柄がにじみ出る』、『数学で一番重要なことは、問題と一緒に生活すること』など、数学者たちによる数学への様々な愛を知ることができます。  
何かを一心に探究する姿を見ることのできるこの著書。数学が好きになれるかはわかりませんが、意識はちょっと変わるかもしれません。

こちらの本は、カレードと郷公民館に1冊ずつ所蔵しています。